

ホームページもご覧下さい。
http://www.masumo-seiji.com
ますも誠二 検索

4回目のワクチンが必要な理由・・・ そして、女性の副反応が強い理由・・・

市原市議会議員 **ますも誠二**

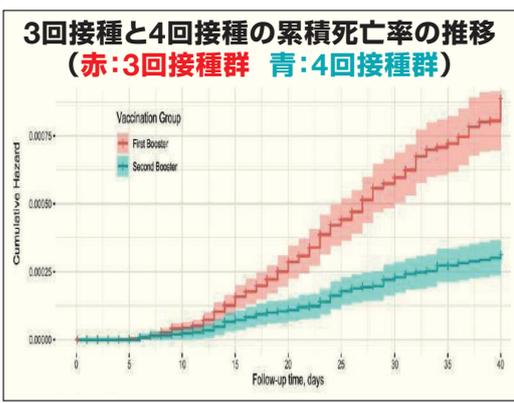
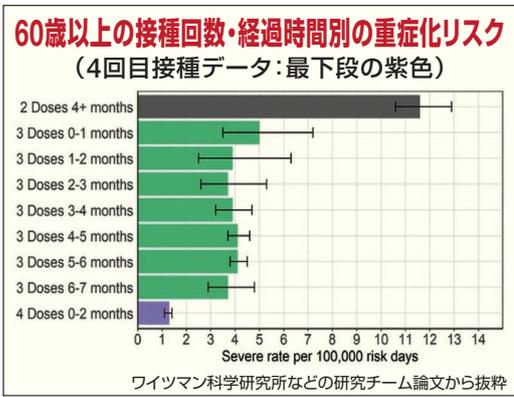


ひまつぶし
ますも誠二 月刊広報誌
Vol.88

松野官房長官 来たる!!

市原市議会議員 ますも誠二
市政報告会のご案内
詳しくは2面へ▶





ワクチンの主な副反応の発生確率

| | |
|-------|-------|
| 痛み | 70.7% |
| けんたい感 | 33.4 |
| 頭痛 | 29.4 |
| 筋肉痛 | 22.8 |
| 寒気 | 11.5 |
| 発熱 | 11.4 |
| 腫れ | 11.0 |
| 関節痛 | 10.4 |
| 吐き気 | 8.9 |

※米疾病対策センター(CDC)の資料より

参考文献
朝日新聞 Reライフ健康キレイワクチン接種4回目、なぜ必要?効果は?海外での使用実績は? 科学医療ジャーナリスト 大岩ゆり

今月の「ひまつぶし」では4回目のワクチン接種の効果について、独自取材と、科学医療ジャーナリスト大岩ゆり先生の論文の引用とさせて頂き、市民の皆様にお伝えしていきたいと思えます。

まず、イスラエルの報告によると、60歳以上の4回目の接種をした人は、4回目接種から約40日後では、**3回接種の人に比べて重症化防止効果は4倍以上高い**と推計されています。

一方、感染を防ぐ効果は4回目接種直後には2倍で、約60日後では、3回目の人と変わらない事が分かっています。

つまり、この4回目の接種とは、特に**60歳以上の重症化予防には、もの凄い効果を発揮し、感染防止には大した効果がない**という事(私見)。

新型コロナウィルスワクチン接種については、長年の研究データがないことから、否定的な意見もあります。しかし、ワクチン接種を拒み、重症化して死亡される事案も数多い事の実を私たちはしっかりと知るべきです。

次に、新型コロナウィルスのワクチンは、女性のほうが男性より副反応が起きやすく、激しいアレルギー反応であるアナフィラキシーも女性に多い事が分かっています。

このX染色体の上には、ウィルスなどの異物が体内に侵入してきた際、その病原体をやっつけるための重要な役割を果たす遺伝子「自然免疫」があります。即ち、その染色体が1本多い女性の方が免疫反応が強い一因と考えられています。

これからは、もともとの女性の免疫力(免疫反応)が強いから、同じワクチンを打っても副反応が起きやすく、ワクチン接種で得られるウィルスへの免疫力・抵抗力も大きいという事です。

女性の免疫力の強さは、遺伝的な背景も関係していません。ちよつと雑な説明になりますが、遺伝子が集まる「染色体」のうち、男女を決める性染色体には、**女性に2本あり、男性には1本しかないX染色体というものがあります**。このX染色体の上には、

このX染色体の上には、ウィルスなどの異物が体内に侵入してきた際、その病原体をやっつけるための重要な役割を果たす遺伝子「自然免疫」があります。即ち、その染色体が1本多い女性の方が免疫反応が強い一因と考えられています。

これからは、もともとの女性の免疫力(免疫反応)が強いから、同じワクチンを打っても副反応が起きやすく、ワクチン接種で得られるウィルスへの免疫力・抵抗力も大きいという事です。

女性の免疫力の強さは、遺伝的な背景も関係していません。ちよつと雑な説明になりますが、遺伝子が集まる「染色体」のうち、男女を決める性染色体には、**女性に2本あり、男性には1本しかないX染色体というものがあります**。このX染色体の上には、

飯香岡八幡宮の知られざる凄さ… 関東の究極のパワースポットを取材



今月は私たち市原市民なら誰でも知る神社、飯香岡八幡宮について取材しました。

飯香岡八幡宮と言えば、源頼朝が石橋山の合戦に敗れ、この地において必勝を祈願し植えたと言われる今なお残る「逆さ銀杏」があまりにも有名です。逆境に挑む人たちのパワースポットとして訪れる方も多いとか…



中央に飯香岡八幡宮の鳥居が確認できます。



「良い香り」だったという事で、この地を「飯香丘(岡)」と名付けたそうです。

一方、その頃、九州薩摩において激しい反乱が生じ、多くの犠牲者が出た事に対し、時の天武天皇はたいへん心を痛めたそうです。この事により、全国に「国」社の八幡宮を建立し、捕えた生き物を逃すなど、憐れみの「放生会」などを積む事を積極的に行い、死者の霊を慰めたそうです。その時、上総国の八幡宮としてこの地にお祀りされたと言われています。

一方、文治2年(1186)年に書かれたとされる市原光善寺の薬師如来縁起によると、今の市原地区八幡神社にあたりますが、この場所に高僧(行基)がお堂を建て、人々に仏の道を説いていると、今も存在する大きな石の上に



原型のまま室町時代から残る神輿

現在も残る逆さ銀杏が確認できます。江戸時代の飯香岡八幡宮



現在も残る逆さ銀杏が確認できます。江戸時代の飯香岡八幡宮

文責 増茂誠二
監修 飯香岡八幡宮 平沢牧人宮司

八幡神が突如現れたそうです。高僧は麦飯と柳の箸でもてなし、以来、八幡神社として手厚く祀られたそうです。以後、この祭礼には柳の楯を奉ずるようになったといわれています。古記録類からも、南北朝時代には既に柳楯神事が現在の形で行われていた事が書かれています。この八幡宮が時代を経て市原→五所→八幡へと移りその歴史を柳楯神事の順路が伝えていともいいます。

市原市議会議員 ますも誠二 市政報告会のご案内

御来賓

市原市長
小出讓治 様



元帝京大学ちは総合医療センター
救命救急センター長
医学博士
森脇龍太郎 様



千葉県議会議員
鈴木まさとし 様

市原市議会議員
鈴木ともなり 様

市原市議会議員
保坂好則 様



主賓 内閣官房長官
松野博一 様

日時 令和4年11月20日(日)
開会 17:30~

場所 市原市民会館 小ホール
住所/千葉県市原市惣社1-1-1
TEL/0436-22-7111

会費 無料

マックスバリュ辰巳店東側駐車場前に
往復用大型バスをご用意しております。
ご利用される方は080-1213-7679までご連絡下さい。

※有事の際は、内閣官房長官 松野博一先生に関しては急遽欠席する事もあります。

開催予定日 11月19日(土)
場所 辰巳公民館
時間 16:00~18:00
料金 子ども100円 大人200円
予約制となります
連絡先:090-6031-8494(タルミ)

ますも誠二 プロフィール

氏名 増茂 誠二
生年月日 昭和42年12月1日
職業歴 市原市議会議員(市原市地域保健医療協議会副会長)
国士館大学 防災・救助救急総合研究所 嘱託研究員
学校法人 国際医療福祉専門学校 理事長補佐
杏林大学保健学部非常勤講師
千葉市医師会非常勤講師
資格・学位 救急救命士 危機管理士 修士(救急救命学)
学歴 国士館大学大学院救急救命システム科
修士課程卒業
千葉大学大学院環境生命医学博士課程
単位取得満期退学
その他 千葉県パワーリフティング協会会長
市原市剣道連盟顧問(剣道教士七段)

